



2025 年 7 月 1 日

報道各社御中

【報道参考資料】

杏林大学

7 月より杏林大学医学部附属杉並病院で次世代型「スマートウォッチ外来」を開設



杏林大学医学部附属杉並病院（東京都杉並区和田）

電子カルテとスマートウォッチ健康情報（PHR）の連携

【概要】

杏林大学医学部附属杉並病院では、2025 年 7 月 2 日より次世代型「スマートウォッチ外来」を開設します。ふだん身につけている **AppleWatch**※をはじめとするスマートウォッチやスマートフォンから得られる健康データ（PHR：Personal Health Record）を、診療や健康管理に活用する新しい外来です。

スマートウォッチでは、歩数・歩行距離・心拍数・消費カロリーなどの日常的な活動量を自動で記録できます。さらに、血圧計・体重計・持続血糖測定器（CGM）などと Bluetooth で接続することで、血圧・体重・体脂肪率・血糖値などのデータも取得・蓄積が可能です。

これまで患者さんがスマートフォンの画面を診察時に提示したり、紙に印刷して持参したりといった方法でデータを活用する診療は行われてきましたが、今回の外来では、セキュリティが確保されたクラウド上にデータを保存し、電子カルテから直接確認できる仕組みを導入しています。

これにより、診察時の負担が軽減されるだけでなく、患者さんのかかりつけ医と健康情報を共有することが可能で、よりきめ細かな診療や、地域医療機関との連携もスムーズに行えるようになります。



AppleWatch での心電図計測

測速心電図 - 平均心拍/分: 63
今回の心電図には心房細動の兆候は見られませ
ん。



計測した心電図を PDF で表示

【担当医からのメッセージ】

杏林大学医学部附属杉並病院 循環器内科 診療科長/教授 矢田 浩崇

さまざまな分野でデジタル化が進む現代社会において、医療のデジタル化はまだ発展途上にあります。

このたび新たに開設する次世代型スマートウォッチ外来では、スマートフォンやスマートウォッチに蓄積された健康情報（PHR）をクラウドを通じて活用し、日常の診療に役立てる新しい取り組みを行います。

スマートフォンやスマートウォッチは、いまや現代人の生活に欠かせないツールです。

それらをご自身の健康づくりや生活習慣の改善に生かすことで、デジタル時代にふさわしい医療のかたちを、皆さまとともに実現していきたいと考えています。

本外来の対象となる疾患は幅広く、高血圧・糖尿病・高コレステロール血症などの生活習慣病から、心房細動・心不全などの循環器疾患までを含みます。

これらの疾患は日常の健康管理が特に重要とされており、日々のデータをもとにした継続的なサポートが有効です。この取り組みは、まだ始まったばかりで、試行錯誤もあるかもしれません。

しかし、未来の医療をともにつくっていく喜びや楽しさを、患者さんと医療従事者が共有できる外来にしたいと願っています。

受診をご希望される方は、かかりつけの病院から予約をお願いします。

参考 URL: <https://www.kyorin-u.ac.jp/hospital/suginami/clinic/smartwatch>

「本件に関するお問合せ先」

杏林大学 広報室

E-mail: koho@ks.kyorin-u.ac.jp

電話：0422-44-0611（広報室直通）

※Apple Watch は、Apple Inc.の商標です。